

地区別意見交換会における意見概要

開催日	場所及び参加人数	主 意 見
7月24日 (火) 19:00 ～ 20:45	豊橋市豊城地区市民館  参加人数：37人 (一般住民)  豊橋市 35人 豊川市 1人 不 明 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢等の変化に応じた計画の見直し等のチェック制度が必要である。</li> <li>・原案作成段階でも地域住民の意見を聞くべきである。</li> <li>・整備計画を早期にまとめ、速やかに事業を実施するべきである。</li> <li>・霞堤の早期締切りを望む。</li> <li>・「河川環境の保全」「住民意見の反映」「豊川らしさを守る」ということは評価できる。</li> <li>・豊川にはまだ自然が残っている。また、各地に調整池ができ、(水需給としては)今がバランスが良いと思っており、整備計画の中では設楽ダム計画が突出している。</li> <li>・適正な水の使い方を議論し、反映するべきである。</li> <li>・設楽ダム建設予定地の住民には感謝しており、下流としても協力しないといけな思っている。</li> </ul>
7月25日 (水) 19:00 ～ 20:45	豊橋市石巻地区市民館  参加人数：36人 (一般住民)  豊橋市 36人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道整備の中に、9.6k付近の狭窄部対策を入れるべきである。</li> <li>・常に洪水が心配である。全ての霞堤が締切れないのであれば、それに替わる対策をするべきである。 (霞内に浸水した水が、速やかに排水できるようにポンプ場を作る等)</li> <li>・霞堤地区対策として輪中堤や周囲堤を作ることも検討するべきである。</li> <li>・霞堤地区が浸水の常襲地帯とならないように、十分努力してほしい。</li> <li>・水源地域である設楽町の人にご迷惑をかけているが、協力体制を造り設楽ダムの建設をお願いしたい。</li> <li>・情報公開を徹底し、住民との意志の疎通を図るようになるべきである。</li> <li>・住民は洪水に対し、常に不安を持っている。治水対策には、十分配慮し計画を立てるべきである。</li> <li>・整備計画作成後も説明会等を開催し、住民との意見交換を図るべきである。</li> </ul>
7月26日 (木) 19:00 ～ 20:45	豊橋市北部地区市民館  参加人数：34人 (一般住民)  豊橋市 34人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設楽ダム計画を含む整備計画原案に賛成する。</li> <li>・河川整備計画を早期に作成し、内水対策、堤防補強(大村)の早期完成を希望している。</li> <li>・情報の開示を適切にするべきである。(特に地元の人に対して)</li> <li>・堤防を道路として利用するためにも堤防を直線にしてほしい。(9.8k～10.4k右岸付近)</li> <li>・大村地区の内水対策を早急を実施してほしい。</li> <li>・牛川霞地区の堤防完成前に大村地区の内水対策の実施をお願いしたい。</li> <li>・(堤防が切れると被害が大きい)大村地区の堤防補強を一番先に実施していただきたい。</li> </ul>
8月2日 (木) 19:00 ～ 21:10	新城市市民体育館  参加人数：47人 (一般住民)  新城市 39人 豊橋市 2人 設楽町 1人 鳳来町 5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支川殿田川の内水対策を希望する。</li> <li>・洪水対策としては、支流等に調整池を設け対処するべきである。</li> <li>・針葉樹を広葉樹に植え替え、保水能力を高める施策を実施するべきである。(緑のダム)</li> <li>・ダムが作られることにより、節水型社会の構築が遅れるのが心配である。また、節水型社会を目指すべきであり、循環型社会ができればダムは不必要である。</li> <li>・大島ダム完成後の状況を見てから、設楽ダム計画(利水)をたてるべきである。</li> <li>・需要予測が過大であり、再調査するべきである。</li> <li>・新農業基本法の基本理念が考慮されていない。</li> <li>・自然環境を破壊する設楽ダムの建設には、反対である。また、150年に1回の洪水のために2,000億円を投資し設楽ダムを建設するのは現実的ではない。</li> <li>・生物に配慮した河川整備を希望する。</li> <li>・河川利用者に配慮した川づくりの実施をお願いしたい。</li> <li>・整備計画策定前に、意見交換会等の場をもっと増やすべきである。</li> <li>・ダムは環境破壊を引き起こすため、脱ダムすべきである。</li> </ul>
8月3日 (金) 19:00 ～ 20:10	一宮町 農業者トレーニングセンター  参加人数：37人 (一般住民)  一宮町 36人 豊橋市 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水時の水位低下対策を引続き実施されたい。</li> <li>・江島霞の早期締切りを希望する。</li> <li>・江島霞の名前の変更(地元の言い方は、「金沢霞」)を希望する。</li> <li>・放水路等の河川管理施設の管理に万全を尽くしてほしい。</li> <li>・設楽ダム建設でなく、中流部または流域内に調整池を設ければ利水に対処できる。</li> <li>・今後も意見交換会等の場を設けてほしい。</li> <li>・河川改修の進捗等に伴い、霞堤内の浸水頻度は更に多くなると思われる。</li> </ul>
8月5日 (日) 13:00 ～ 15:00	田原町 サンテパルク田原  参加人数：30人 (一般住民)  田原町 13人 赤羽根町 3人 渥美町 3人 豊橋市 10人 名古屋市 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(流域委員会で出された)代替案を実行すれば設楽ダムは不要である。</li> <li>・設楽ダム建設に伴う農民等の負担がわからないと適否が判断できない。</li> <li>・水需要計画が過大である。また、新規需要に対しては、豊川総合用水施設で対応可能である。</li> <li>・(幹線水路が災害等で使えなくなった時を考え、)水利用は豊川のみ依存するのではなく、受益地に降った雨量を有効利用するべきである。</li> <li>・渇水による水不足に対しては、天竜川からの導水を増量するべきである。</li> <li>・水道の市町村受水制度は、責任受水制ではなく、従量制にするべきである。</li> <li>・設楽ダムの完成は、20～30年後であり、受益地域での雨水の有効利用を考えた方が現実的である。</li> </ul>

開催日	場所及び参加人数	主 意 見
8月6日 (月) 19:00 ～ 21:00	蒲郡市民会館  参加人数：62人 (一般住民)  蒲郡市 51人 御津町 1人 豊橋市 3人 豊川市 1人 新城市 1人 吉良町 2人 幸田町 1人 岡崎市 2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河畔林は洪水防御に役立つ。伐採するべきではない。</li> <li>・設楽ダム建設ではなく、支流毎に調整池を設ければ治水、利水に対処できる。</li> <li>・設楽ダム建設だけではなく、保水力のある広葉樹の植林等、総合的対策を検討するべきである。</li> <li>・各戸に雨水タンクを設置する等、節水対策により渇水や新規利水に対処するべきである。</li> <li>・新規利水は、豊川総合用水施設や天竜川から更なる導水を実施し、かつ節水により対応可能である。</li> <li>・安定的に水が確保できる施策を推進していただきたい。</li> <li>・水不足の抜本的対策となる設楽ダムの早期建設を希望する。</li> <li>・ダム建設に当たっては、水源地域の整備の推進及び上下流の流域一体観への取り組みの推進を希望する。</li> <li>・人が活動するためには水が必要であり、必要最小限のダムは必要である。水源地域の方々に理解を頂き、設楽ダムの早期建設を希望する。</li> <li>・森林は個人所有が多く、針葉樹を広葉樹に変えると収入とならず管理ができなくなる。総合的な判断を行い有効な施策を実施する必要がある。</li> <li>・河川の自然環境を損なわないような整備が必要である。</li> <li>・生態系に影響を与える設楽ダムに反対する。</li> <li>・農業の経営姿勢が問題であり、水に対する感謝、水利用への心構えの啓発に努めるべきである。</li> <li>・飲料水は上水道で、他は雨水利用等で対応すべきであり、設楽ダム建設ではなく雨水貯留施設により対処するべきである。また、そのための補助金制度の充実や有効活用の研究の推進に努めるべきである。</li> <li>・設楽ダムは約1.1m<sup>3</sup>/sを生み出すために2,000億円かかり、事業費が高い。</li> <li>・設楽ダム建設に当たり、自然環境に十分配慮するとあるが具体性がない。</li> </ul>
8月7日 (火) 19:00 ～ 21:10	鳳来町 開発センター  参加人数：60人 (一般住民)  鳳来町 49人 豊橋市 4人 新城市 4人 設楽町 2人 不 明 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水に対しては、霞堤の有効利用を行うことにより対応可能である。</li> <li>・浸透性舗装等、中下流域も含めた流出抑制策を実施するべきである。</li> <li>・農業用水の無駄をなくし管理を適切に行うことにより、利水は対応可能である。</li> <li>・中下流域で自己水源を確保し、節水を行えば設楽ダムは不要である。</li> <li>・ダム建設は上流に痛みを求めるが、下流にはない。設楽ダム建設でなく、中下流域に調整池等を設け対処するべきである。</li> <li>・中水道の利用、山林の保水機能の保全を進めるべきである。</li> <li>・ダム建設により流況が平滑化することに伴い河川環境が悪化して、アユ等の魚類が減少するため、設楽ダム建設に反対である。</li> <li>・設楽ダム建設により、河川環境に悪影響を与える。</li> <li>・下流域の河川環境に対する配慮のみで、上流域の河川環境への配慮がない。</li> <li>・設楽ダム以外の必要な事業は実施してほしい。</li> <li>・整備計画原案作成に当たっては、住民の意見を配慮してほしい。</li> <li>・河川整備計画についても情報公開を進めるべきである。</li> </ul>
8月8日 (水) 19:00 ～ 20:10	豊川市 東部小学校体育館  参加人数：28人 (一般住民)  豊川市 26人 新城市 1人 鳳来町 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支川間川が本川に合流する付近の護岸整備を希望する。</li> <li>・賀茂霞の早期締切りを希望する。</li> <li>・治水対策は、洪水被害が頻発している中小河川の整備を優先して実施するべきである。また、本川の洪水対策は支流に調整池を設け対処するべきである。</li> <li>・保水地域、遊水地域（霞堤の存置等）の保全や低地などの地域ごとの総合的な治水対策を実施するべきである。</li> <li>・150年に1回の洪水に対する設楽ダム計画は過大である。</li> <li>・水需要予測が過大であり、水不足対策としては、雨水利用と中水利用すればよい。</li> <li>・地域の発展に水は必要であり、設楽ダムの早期建設を希望する。</li> <li>・豊川の恒常的な渇水対策としての設楽ダムの早期建設を希望する。</li> <li>・過去において行われた流域内の開発行為（支川改修、ゴルフ場開発、山林の植林等）を念頭にいれ、治水利水計画を立案するべきである。</li> <li>・下流域の降雨を有効に活用する施策を実施するべきである。</li> <li>・河川敷緑地等を整備した後の河川利用者に対する対策（ゴミ処理、夜間の騒音等）も検討するべきである。</li> </ul>

開催日	場所及び参加人数	主 意 見
8月11日 (土) 19:00 ~15:00	豊橋市 生活家庭館  参加人数：29人 (一般住民)  豊橋市 24人 設楽町 2人 鳳来町 1人 名古屋市 1人 山口県 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山林の整備・管理を整備計画に盛り込むべきである。</li> <li>・支川の本川合流点に、調整池を設け、治水利水に対応するべきである。</li> <li>・150年に1回の洪水に対応するためには、後2つのダムが必要であり、ダムの耐久年数を50年とすれば、永久にダムを作り続けることになり非現実的である。</li> <li>・下流域としては、設楽町の方々が設楽ダム建設に同意していただければ、反対する理由はない。東三河の発展、水不足の解消のために設楽ダムの早期建設を要望する。</li> <li>・渇水時に高所では農業用水が出ない。水不足の解消のために設楽ダムの早期建設を希望する。</li> <li>・渇水時には節水して必要な水量を使っている。設楽ダム建設を強力に推進して、水不足の解消を希望する。</li> <li>・安心して安全な地域をつくることには賛成であるが、水需給計画が過大である。</li> <li>・水利権量での取水量ではなく、需要に応じた取水で対応すべきである。</li> <li>・大原調整池規模の調整池を作れば(利水に)対応可能である。</li> <li>・雨水利用の促進等、節水型社会の構築を目指すべきである。</li> <li>・節水への意識改革をPRし、雨水の有効利用等を図るべきである。</li> <li>・地球温暖化等に対処するためには、降った雨を有効に利用できる設楽ダム以外にないと考えている。</li> <li>・設楽ダムの環境に与える問題や住民の費用負担の問題もあり、設楽ダム建設は再考するべきである。</li> <li>・川に関するイベント等を開催し、川に関心を持ってもらうことが重要である。</li> <li>・水不足は、ダムに水がないからではなく、雨が降らないからである。雨が降らないから渇水という認識をもっといただきたい。</li> <li>・設楽ダムの必要性について生活に密着した数字や、具体的な積算資料をもって説明するべきである。</li> <li>・今後も意見交換会等の場を作るべきである。</li> <li>・若い人が関心を持てるような説明会を開くべきである。</li> </ul>
8月11日 (土) 18:00 ~20:00	豊川市 豊川文化会館  参加人数：19人 (一般住民)  豊川市 13人 豊橋市 1人 音羽町 2人 鳳来町 1人 岡崎市 2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本川の改修よりも中小河川の改修を優先するべきである。</li> <li>・締切り可能な霞堤について締切った上で、洪水対策を実施するべきである。</li> <li>・水不足に対しては雨水利用の促進を図るべきである。</li> <li>・水源地の人々の理解の元、水不足解消のため設楽ダム建設を早急に進め実施すべきである。</li> <li>・プールの閉鎖等が起こらないような、東三河のふるさとづくりに努力してほしい。</li> <li>・設楽ダム建設により、下流域は中小洪水によるフラッシュ効果がなくなる。</li> <li>・閉鎖水域である三河湾浄化のためには、豊川から洪水が流れ込むことが重要である。</li> <li>・設楽ダム建設による環境への影響を極力少なくすると書いてあるが、具体性がない。</li> </ul>
8月19日 (日) 13:00 ~15:20	設楽町 田口特産物振興センター  参加人数：79人 (一般住民)  設楽町 63人 豊橋市 7人 新城市 3人 鳳来町 1人 東栄町 1人 岡崎市 2人 春日井市 1人 不 明 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダムに頼らない治水計画で対応するべきである。</li> <li>・水需要予測が過大である。需要予測については、ダム施工者である国土交通省が責任を持って答弁すべきである。</li> <li>・水需要予測が過大であり、省資源、省エネルギーの考え方を取り入れた計画にするべきである。</li> <li>・将来の水需要に対しては、豊川総合用水施設で対応可能であり、設楽ダムは必要ない。また、水不足は、事前にわかっているため数ヶ月前の早い時期から対応するべきである。</li> <li>・(地区内の)自己流域に水源を持ち対応するべきである。</li> <li>・水を有効利用できるようなダム管理システムの一本化が必要である。</li> <li>・ダムの地質について、流域委員会で十分な議論がなされていない。</li> <li>・設楽ダム問題の早期解決を希望する。また、建設するならば早期実現をお願いしたい。</li> <li>・ダム計画を撤回し、ダム計画により精神的苦痛を受けた方々に補償を行うとともに、国、県が責任をもって町の振興策を実施するべきである。</li> <li>・ネコギギ、クマタカは設楽町のみならず、県民の財産である。設楽ダム建設によりネコギギは壊滅する。</li> <li>・利水について、宇連ダムへ導水路でのポンプアップ等の対策を検討するべきである。</li> <li>・自然環境を破壊することのない、小規模ダム群を設置する等の施策を検討するべきである。</li> </ul>